

学校教育推進室だより

東大阪市教育局 学校教育推進室 令和8年10月2日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校づくり

学校園・家庭・地域の協働

【大阪880万人訓練】

『大阪 880 万人訓練』は、府民一人ひとりが、様々な情報源から地震・津波発生情報を入手し、地震・津波発生時に自らの命を守る行動に繋がるよう、防災意識の向上を図ることを目的として実施されています。

今年は9月1日10時00分に地震が発生し、10時03分に大津波警報が発表されたとの想定で、訓練が実施されました。



東大阪市内の学校園では、避難訓練の事前学習を行う中で、災害時に起こりうること、またその際にどのような行動をとらなければならないかなど、自ら考え、共有しながら、防災についての学びを深めています。近年、地震が頻発している状況や南海トラフ巨大地震の発生が危ぶまれる状況の中、防災意識を高め、命を守るための行動をとるために、非常に重要な機会になっています。

今回の訓練をはじめ、自然災害による避難訓練を重ねることで、防災に対する意識や安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高められるような防災教育につなげていけたらと思います。

～大阪防災アプリについて～

大阪防災アプリでは地震・津波情報に加え、気象注意報や警報、熱中症、線状降水帯、自治体からの避難情報等、多様な防災情報を確認することができます。ぜひご活用ください。



教務主任等連絡協議会

8月24日、市教育センターにて、各校の教務主任を対象とした連絡協議会を実施し、各校より1～2名、計82名が参加しました。

《目的》

- 学校における教務主任の役割と職務の在り方について理解を深めるとともに、教育課程の編成・実施及び評価に関する諸問題の共有と解決を図る。
- 校務DXの推進や学校間の情報交換を通して教務に関する調整機能の充実を図り、各学校における教育活動の一層の充実・改善に資する。

〔内容〕

教務主任として求められる役割や教育課程のマネジメントについて学ぶとともに、教務の業務に関するテーマ交流を行いました。また、各校の実践や工夫を共有しながら、校務の効率化や教育活動の充実につながるICT活用の在り方について理解を深めました。



～感想より～

- 自校の校務体制の改善の余地がとてもよく見えた。ぜひ今日教えていただいたことを参考に、新しい取り組みを模索していきたい。
- 教務は学校に一人しかいないので、今日の研修で他校の実践をたくさん知ることができ、とても有意義な時間になりました。今日、さまざまなICT活用の仕方も教えてもらったので、自校に持ち帰り、実践できそうなところは取り入れてみたいです。

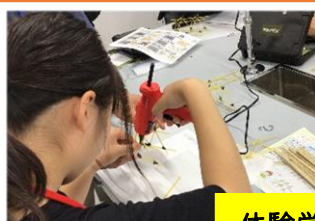
近畿大学理工学部体験学習

《開催日》 令和8年8月19日（水）
《対象》 市立中学校生徒とその保護者

《目的》 理工学に対する関心を高めるとともに、将来の理工学部への進学及び自身のキャリアについて考える機会を設け、生徒の学習意欲の向上を図る。



近畿大学東大阪キャンパスにおいて、理工学部体験学習を実施しました。当日は、市立中学校から応募のあった生徒とその保護者46組が参加しました。参加者は、学生の案内のもと、アカデミックシアター等の施設を見学した後、「生命・化学」「工学・技術」「環境・エネルギー」の3グループに分かれ、それぞれ2種類の体験学習に取り組みました。その後、グループごとに、大塚化学、パナソニック、資生堂の各企業から、研究内容や開発製品、理系分野の魅力や進路に関する講演を、実験や観察を交えながらいただきました。参加した生徒たちにとって、自身のキャリアについて考える貴重な機会になりました。



体験学習の様子



参加者の感想・アンケートより一部抜粋

- ・理工学について、少し知っているつもりでいた部分もあったけど、詳しくやるといろんな知識がたくさんあって、それに魅了されたと思います。（生徒）
- ・化学は身近に感じづらいものだと思っていましたが、近畿大学の理工学部の行っている事を詳しく教えてもらい、考えが変わりました。化学の面白さを知れて楽しかったです！（生徒）
- ・内容もわかりやすく、しかし高度な内容で面白かったです。大学で学んだことが職業にどうつながるのかもわかった点もよかったです。（保護者）

産学連携 大阪大学医学部体験

《開催日》 令和8年8月20日（木）
《対象》 市立中学校2,3年生とその保護者

《目的》 健康医療分野の先進的な研究や医療機器に触れ、生命・医学に対する関心を高めるとともに、進路に対して展望を持ち、学習意欲の向上につなげる。



東大阪市は大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院との連携推進協定を結んでおり、今年度も本体験が開催されました。当日は、中学2,3年生と保護者で全52名が参加しました。大阪大学医学部やドクターヘリ、医療分野の先進的な研究の説明、東大阪ブランドの医療機器の紹介など、さまざまなプログラムの見学や体験で、参加した生徒たちにとって、大学や医学への関心をさらに高める貴重な機会になりました。



阪大医学部・研究等紹介



医学の歴史を知る・資料館見学



東大阪ブランドの医療機器に触れる



参加者みんなで
正面玄関にて記念撮影

《参加者の感想・アンケートより一部抜粋》

- ・初めて知ることがたくさんあり、とても良い機会だった。これまでよりもさらに興味を持つことができた。
- ・自分の夢に直接つながるもので、参加してとても良かった。今後も普段は身近ではない場所へ行ける体験があればいいと思った。
- ・専門的な言葉を学び、様々な歴史を知ることができ、すごく心に残りました。今後進路を決めていく上でとても大切な経験になりました。
- ・「ものづくりの町」東大阪が、医療にも繋がっていることを知り驚いた。